

# 株主通信

〈第61期〉

平成27年7月1日から  
平成28年6月30日まで

人と自然に調和する環境を創造する

 株式会社 **武井工業所**

# 株主の皆様へ

To our shareholders



平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび当社第61期（平成27年7月1日から平成28年6月30日）が終了いたしましたので、ここに事業の概況と決算の状況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、何卒今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年9月

代表取締役社長 武井 厚

## 事業の概況

Business review

当事業年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境に改善がみられるなど景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかし個人消費は弱含みの状況が続いており、消費税の引き上げが見送られるなど先行きは不透明な状況が続いております。

当社の属する建設業界におきましては、公共部門において維持補修分野への予算配分シフトが加速していることや、民間部門では建設現場の人手不足の影響などにより全国的に土木工事の量が減少しております。

このような経営環境のなか当社は、商圏内の公共工事が低調に推移したことにより、同業他社からの仕入れによる商品販売が大きく減少いたしました。一方、製品販売については長年取り組んできた民間市場向け製品の拡充が奏功したことにより、公共工事の減少に係わらず製品売上は前事業年度とほぼ同額を計上することができました。

この結果、当事業年度の業績は、売上高45億5千4百万円（前期比5.0%減）となりました。利益面では、営業利益1億4千6百万円（前期比40.8%減）、経常利益1億4千3百万円（前期比33.1%減）、当期純利益は7千4百万円（前期比38.6%減）となりました。

次期は、第4次中期経営計画（平成29年6月期～平成31年6月期）のスタート年となります。

この期間を「新たな時代への挑戦」と位置づけ「環境変化をチャンスととらえ、すみやかに対応する強くしなやかな組織」を目指すために、①既存事業の強化、②新規事業への取組、③新たな製造技術の習得、④海外市場への取組み、の4つを基本戦略に据えて、事業を推進してまいります。

## エクステリアエキシビション2016出展

### 製品：シキール・ツメール・カクセール



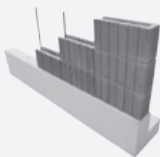
平成28年4月22・23日に行われたエクステリアエキシビションは、日本を代表するエクステリアメーカーが一堂に集う、今回で11回目の日本最大級のエクステリア専門展示会です。会場は東京国際展示場「東京ビッグサイト」西1・2ホール、出展社は全67社、14,736人の来場者数となりました。

当社は、今回が初挑戦の出展となります。ブースの面積は3.5×7.0m、入場口からほど近い場所で、圧倒的な展示スペースのYKK AP社（アルミサッシの国内シェアはLIXILに次いで第2位）の正面に位置しました。出品はフェンス基礎ブロック兼化粧付境界ブロックのシキールと、この展示会が初お披露目となる新製品のツメールとカクセールです。ツメールは市販の様々な空洞ブロックを積み重ねることができる基礎ブロックです。カクセールは、予てより要望が多かった目隠しフェンスに対応したL型擁壁です。

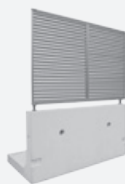
両日共に、スタッフは途切れることなく訪れる来場者の対応に追われ休憩もままならないほどの大盛況でした。用意したパンフレットが初日でほぼ無くなってしまい、急遽大慌てで増刷といった嬉しいハプニングもありました。結果は、シキールだけでもパンフレット配布枚数は468枚、受け取った名刺は270枚にもなりました。製品に対する評価も上々で、改良点なども含め、嬉しいご意見も多数得ることができました。年々公共工事が減少していく状況の中、民間工事に期待をかけて一層の力を注いでいる当社としては、新たな販路開拓に力強い手応えを感じた展示会となりました。



シキール



ツメール



カクセール

# 茨城県稲敷市

## 稲敷市役所新庁舎及び周辺道路整備工事

製品：フリードレーンVⅡ・FDVⅡブロック・連続基礎ブロック他



施工現場となる稲敷市役所庁舎は、茨城県南部に位置し、概算工事費53億円  
で平成26年11月に着工、今年5月に開庁したばかりです。設計当初は、旧江戸  
崎西高等学校校舎の一部を利用する建設計画でした。しかし、東日本大震災の  
影響により予定していた校舎が使えなくなり、全て新築での建設に変更となり  
ました。事業コンセプトは、豊かな自然環境と調和し、市民に愛され、市民の  
「絆」を結ぶ先進庁舎。また、安心・安全の防災庁舎、地球・市民に優しい環境  
配慮型庁舎、誰にもわかりやすく使いやすいバリアフリー庁舎を設計コンセ  
プトに進められました。敷地面積は約32,000㎡です。周辺道路と敷地との間は、  
障壁等を設けない開放感溢れる設計となっています。また地上4階建て庁舎の  
外観は、夏季の強い日射しを遮り、冬季の弱い日射しを有効に室内に導くため  
外壁に設けられたルーバーがとても特徴的です。

ここでは、函渠型側溝フリードレーンVⅡタイプを庁舎の東側道路に810m、  
敷地内駐車場には路面排水側溝のFDVⅡブロックを1,100mご採用いただきました。  
これら2製品の上部表面は、共にエンボス加工を施したタイル模様を有し  
ます。模様は景観性に優れると同時に、雨の日のスリップも抑止し歩行者の安  
全を守ります。この現場では、他にもフェンスを建て込めるL型擁壁の連続基  
礎ブロックを164m、歩車道境界ブロック、柵、U形側溝など多数の製品をご採  
用いただいております。



フリードレーンVⅡ



FDVⅡブロック



連続基礎ブロック

# 茨城県土浦市 県南広域水道霞ヶ浦浄水場外周道路付替工事 製品：FTフリウム



茨城県企業局霞ヶ浦浄水場は、茨城県土浦市大岩田に位置し、近隣には面積約10haの霞ヶ浦総合公園があります。現在この浄水場からは、7市町村（土浦市・つくば市・美浦村・阿見町・竜ヶ崎市・取手市・牛久市）の32万人あまりに日量18万トンもの飲料水を供給しています。

施設は給水後46年もの年月が経過し老朽化が進んでいることから、県企業局が平成16年より改築Ⅰ期事業・総事業費200億円として浄水施設の工事に着手しました。平成25年に工事が完了し新浄水施設の運用が開始しました。そして、同年に霞ヶ浦の水質変化に伴うカビ臭物質や濃縮し難い汚泥の処理に対応するため、改築Ⅱ期事業・総事業費116億円として排水処理施設の工事に着手しました。Ⅰ期で改築した浄水施設の西側に、脱水機棟や天日乾燥床（プールのような構造物に排泥を流し込んで放置し泥と水を分離させる施設）設置のほか、反対の東側には粒状活性炭ろ過池・中間ポンプ棟・濃縮槽・排泥池・排水池を配置させる予定で、平成28年度完成を目指し工事が進められています。

ここでは、本体施設の拡張に伴い敷地沿いに新たに設けられた南北に真っ直ぐ延びる道路にFTフリウムをご採用いただきました。製品規格は、水路幅0.6～3.0m・深さ0.6～1.7mと幅広く、様々な現場の用途に合わせて使用することができます。守備範囲がとても広い水路です。リップ構造の形状は、軽さと強さを併せ持ちます。また、製品間は埋め込み金具とボルトにてしっかりと連結を行うため、軟弱な地盤でも不同沈下を抑止できます。

この現場では、水路幅0.6m・深さ0.6～1.1mタイプを合計356mご使用いただきました。



FTフリウム

# 栃木県宇都宮市

## 栃木県総合運動公園 総合スポーツゾーン軟式野球場改修工事

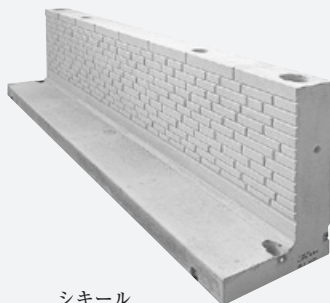
### 製品：シキール



栃木県総合運動公園は、栃木県宇都宮市西川田に位置し、栃木県民公園福祉協会が管理・運営を行う総合運動公園です。昭和23年に、明るく健康な県民育成を目的に「宇都宮総合運動場」として整備が着手されました。その後、国体開催に向け面積を50haに拡張し、施設の充実が進められました。昭和55年には「栃の葉国体」の開催会場となり、翌年に公園名称を「栃木県総合運動公園」と変更し現在に至っています。

公園内には、高校野球の公式戦も行われる硬式野球場、軟式野球場、サッカーJFLの栃木ウーヴァFCがホームスタジアムとして利用している陸上競技場、テニスコートや温水プール、弓道場など様々な運動施設が揃っています。園内は緑がとても豊かで、春には桜が綺麗に咲き誇り、初夏の花菖蒲、秋の紅葉と四季の変化が楽しめます。芝生広場や憩いの森は、家族連れでの散策やお弁当を持参してのピクニックにも最適で、ジェットコースターなど子供達が十分に楽しめる遊園地「とちのきファミリーランド」も併設されています。

ここでは、フェンス基礎ブロック兼用化粧付境界ブロックのシキールを146mご採用いただきました。使用場所は、軟式野球場と隣接する住宅街道路との境界部分となります。使用サイズは全てH500タイプで、道路の縦断勾配に合わせ階段状の施工となりました。この製品は、通常そのほとんどを民間工事にご使用いただいております。今回は、栃木県で2例目となる宇都宮土木事務所様発注による公共工事での使用例となりました。



シキール

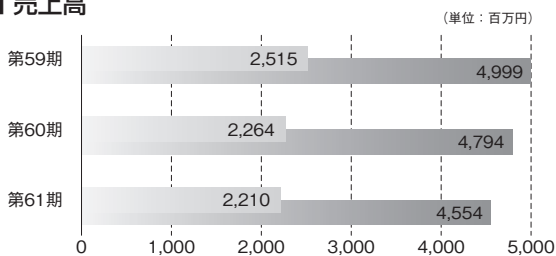
# 財務ハイライト

## Financial highlights

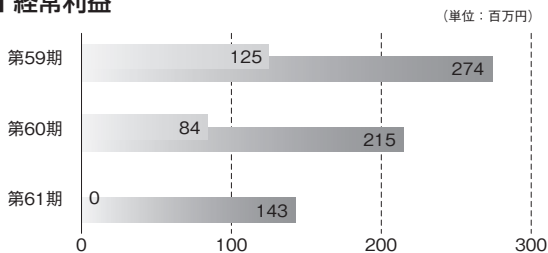
中間

通期

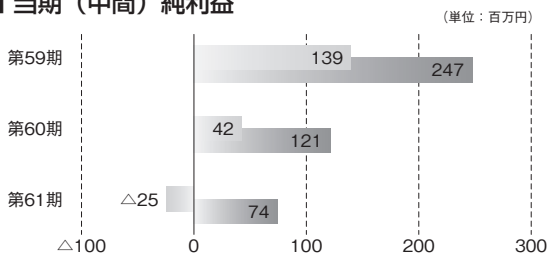
### 売上高



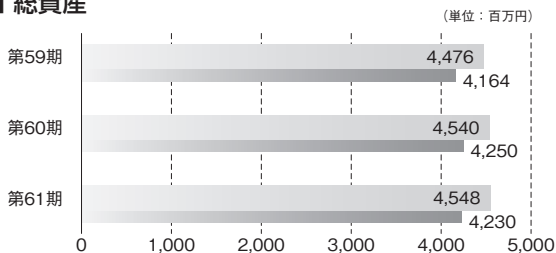
### 経常利益



### 当期（中間）純利益



### 総資産





# Information

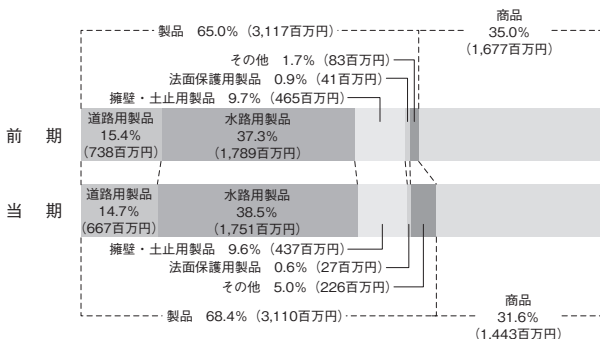
## ■部門別の状況

第61期における売上高は、同業他社からの仕入商品販売は大きく落ち込んだものの、自社製品売上は前期並みを確保することができたため、45億5千4百万円（前期比5.0%減）となりました。

製品別では、道路用製品で6億6千7百万円（前期比9.6%減）、水路用製品で17億5千1百万円（前期比2.1%減）、擁壁・土止用製品で4億3千7百万円（前期比0.2%の減）と総じて前期を下回りましたが、一方でその他製品は、ソーラー発電パネル基礎ブロックや交通安全対策予算により学校周辺の道路に張出歩道（ロードエル、セーフティロード）が採用され、前期比172.4%増と大幅に伸びております。

また、主原材料であるセメント、骨材等の原材料価格の抑制や電気料金等のコスト削減、原油価格の下落による製造原価の低減を図りながら、販売においては、販売単価のアップを図ってまいりました。

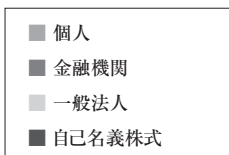
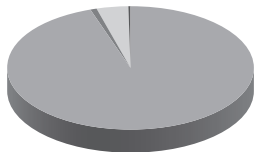
第62期につきましては、当社の主力製品であるフリードレーンや新製品である化粧付境界ブロックのシキール・ツメール、目隠しフェンス対応L型擁壁カクセル等のオリジナル製品の積極的な営業展開を図るとともに、平成28年度の開通を目指し、工事が進められている圏央道のつくば中央ICから境・古河IC間、平成29年度開通予定の東関東自動車道の茨城空港北ICから鉾田IC（仮称）間、IC付近の工業団地造成工事、宅地造成、流通系商業施設等民間工事の大型発注物件が見込まれ、これらの物件を積極的に取り組みながら受注確保に努めてまいります。



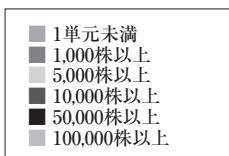
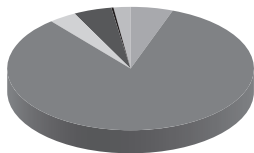
## ■株式の状況（平成28年6月30日現在）

(1) 株主数 487名

(2) 株主の所有者別状況



(3) 所有株式数別状況



#### (4) 株価の推移 (第61期下半期) (単位:円)

年月	H28.1	H28.2	H28.3	H28.4	H28.5	H28.6
最高	-	-	86	-	-	86
最低	-	-	86	-	-	61
出来高(株)	-	-	3,000	-	-	26,000

※フェニックス銘柄における株価

#### (5) 大株主

株主名	持株数	持株比率
武井 泉	375,750株	10.62%
武井 昭	354,750株	10.03%
武井 勇	340,250株	9.62%
太平洋セメント(株)	242,000株	6.84%
武井 厚	202,000株	5.71%
武井 恒	184,000株	5.20%
武井 洋	183,000株	5.17%
(株) 双葉商会	157,000株	4.43%
武井工業所従業員持株会	138,000株	3.90%
(株) 常陽銀行	100,000株	2.82%

※持株比率は自己株式5,344株を控除して計算しております。

#### (6) 取扱証券会社

みらい証券株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目2番9号 三晶ビル6階

TEL 03-5299-6111 (代表) 受付時間 9:00~17:00

URL <http://www.miraisec.co.jp/>

当社株式はフェニックス銘柄に登録しておりましたが、EVOLUTION JAPAN証券株式会社が同銘柄の取扱いを平成28年6月30日付けで終了したため、平成28年7月1日より、みらい証券株式会社を運営会員とする株主コミュニティに移行しております。株主の皆様には大変なご心配及びご迷惑をお掛けいたしますが、先般、既株主様にご送付いたしましたみらい証券株式会社の口座開設書類等をお早めにご提出くださいますようお願いいたします。

#### (7) 株価の確認

<http://www.takei21.co.jp/> または

<http://market.jsda.or.jp/shiraberu/kabucommunity/toriatsukai/index.html>

#### (8) 第4次中期経営計画 (第62期~第64期)

##### 1. はじめに

当社は、第62期(平成29年6月期)をスタート年度とする第4次中期経営計画を策定いたしました。第三次中期経営計画におきましては「ものづくりはひとつづくり」・「品質は人質(じんしつ)」を基本方針に、人材の人財化(人事制度運用力の向上)を目的とした取組として、現業職を廃止し一般職への統合を行いました。これにより、旧現業職であっても工場長や役員を目指せるようになり、経営的視野を持つ人材の育成と積極的登用を可能といたしました。今後も人材の人財化を推進するとともに、第100期を見据えた継続し続ける企業として第3次中期経営計画までの取組を更に進化させながら、新しい時代の流れに柔軟に対応できる組織を目指し、第4次中期経営計画の取組を実行してまいります。

##### 2. 第4次中期経営計画の概要

目指す姿：環境変化をチャンスととらえ、すみやかに対応する強くしなやかな組織

目指す姿の実現に向けた実践テーマ

##### ① 既存事業の強化

- ・5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)の深化
- ・新製品開発
- ・新たな販売方法の確立

##### ② 新規事業への取組

- ・インフラ長寿命化事業

##### ③ 新たな製造技術の習得

- ・高流動コンクリートによる製造技術の標準化

##### ④ 海外市場への取組み

- ・インフラ建設需要が旺盛なインド等の新興国への進出

# 貸借対照表

(平成28年6月30日現在)

## Balance sheets

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
<b>流動資産</b>	1,784,583	<b>流動負債</b>	2,099,022
現金預金	179,261	支払手形	78,428
受取手形	298,864	電子記録債務	264,345
電子記録債権	84,771	買掛金	225,234
売掛金	641,526	短期借入金	992,000
商品	22,204	1年内返済予定の長期借入金	228,702
製品	462,160	未払金	172,941
原材料	46,644	リース債務	26,452
貯蔵品	23,034	未払法人税等	44,338
前払費用	14,052	未払消費税等	17,826
繰延税金資産	14,456	賞与引当金	26,500
その他	2,322	預り金	14,647
貸倒引当金	△4,714	その他	7,604
<b>固定資産</b>	2,446,133	<b>固定負債</b>	623,196
<b>有形固定資産</b>	2,286,331	長期借入金	270,600
建物	275,466	退職給付引当金	225,314
構築物	126,178	リース債務	55,251
機械装置	118,462	資産除去債務	8,519
車輛運搬具	124	役員退職慰労引当金	63,511
工具器具備品	84,340	<b>負債合計</b>	2,722,218
土地	1,605,433		
リース資産	76,326	<b>純資産の部</b>	
<b>無形固定資産</b>	5,491	<b>株主資本</b>	1,507,857
特許権等	536	<b>資本金</b>	522,323
ソフトウェア	383	<b>資本剰余金</b>	389,632
電話加入権	4,572	資本準備金	389,632
<b>投資その他の資産</b>	154,310	<b>利益剰余金</b>	597,014
投資有価証券	13,878	その他利益剰余金	597,014
関係会社株式	10,250	固定資産圧縮積立金	6,436
出資金	12,010	繰越利益剰余金	590,578
会員権	39,600	<b>自己株式</b>	△1,112
保険積立金	89,197	<b>評価・換算差額等</b>	640
破産更生債権等	7,932	その他有価証券評価差額金	640
繰延税金資産	5,364	<b>純資産合計</b>	1,508,498
その他	10,889		
貸倒引当金	△34,812	<b>負債・純資産合計</b>	4,230,717
<b>資産合計</b>	4,230,717		

(注) 1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

- |                   |             |
|-------------------|-------------|
| 2. 有形固定資産の減価償却累計額 | 4,948,079千円 |
| 3. 担保に供している資産     | 1,711,589千円 |
| 4. 受取手形裏書譲渡高      | 201,993千円   |
| 5. 受取手形割引高        | 89,387千円    |

# 損益計算書

(平成27年7月1日から平成28年6月30日まで)

## Statements of income

(単位：千円)

科 目	金 額	
<b>売上高</b>		4,554,068
売上原価		3,283,209
<b>売上総利益</b>		1,270,859
販売費及び一般管理費		1,124,251
<b>営業利益</b>		146,608
<b>営業外収益</b>		
受取利息及び配当金	608	
貸倒引当金戻入額	5,632	
スクラップ売却益	2,127	
受取事務手数料	1,561	
その他営業外収益	16,667	26,597
<b>営業外費用</b>		
支払利息	28,167	
その他営業外費用	1,051	29,219
<b>経常利益</b>		143,986
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	2,534	2,534
<b>税引前当期純利益</b>		141,451
法人税、住民税及び事業税	64,993	
法人税等調整額	1,632	66,625
<b>当期純利益</b>		74,825

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

# 株主資本等変動計算書

(平成27年7月1日から平成28年6月30日まで)

## Statements of changes in net asset

(単位：千円)

	株主資本						株主資本 合計
	資本金	資本 準備金	利益剰余金		自己株式		
			その他利益剰余金				
			固定資産 圧縮 積立金	繰越利益 剰余金			
当 期 首 残 高	522,323	389,632	6,714	524,316	531,030	△1,112	1,441,873
会計方針の変更による 累 積 的 影 響 額	-	-	-	-	-	-	-
会計方針の変更を反映した 当 期 首 残 高	522,323	389,632	6,714	524,316	531,030	△1,112	1,441,873
当 期 変 動 額							
剰 余 金 の 配 当	-	-	-	△8,841	△8,841	-	△8,841
当 期 純 利 益	-	-	-	74,825	74,825	-	74,825
固定資産圧縮積立金の積立	-	-	-	-	-	-	-
固定資産圧縮積立金の取崩	-	-	△278	278	-	-	-
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	-	-	-	-	-	-	-
当 期 変 動 額 合 計	-	-	△278	66,262	65,984	-	65,984
当 期 末 残 高	522,323	389,632	6,436	590,578	597,014	△1,112	1,507,857

	評価・換算差額等		純資産 合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当 期 首 残 高	4,781	4,781	1,446,654
会計方針の変更による 累 積 的 影 響 額	-	-	-
会計方針の変更を反映した 当 期 首 残 高	4,781	4,781	1,446,654
当 期 変 動 額			
剰 余 金 の 配 当	-	-	△8,841
当 期 純 利 益	-	-	74,825
固定資産圧縮積立金の積立	-	-	-
固定資産圧縮積立金の取崩	-	-	-
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△4,140	△4,140	△4,140
当 期 変 動 額 合 計	△4,140	△4,140	61,843
当 期 末 残 高	640	640	1,508,498

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

# 役員

(平成28年6月30日現在)

## Board of directors and auditors

代表取締役社長	武井	厚
常務取締役管理本部長	横田 一	人
取締役製造本部長	金澤	隆
取締役営業本部長	岡本	仁
常勤監査役	鷹啄 英	昭
監査役	山根	節
監査役	古川 史	高
執行役員営業副本部長	萩原 秋	生

(注) 監査役 山根節、古川史高は、社外監査役であります。

# 会社の概要

(平成28年6月30日現在)

## Company information

商創設資本	号業立金	株式会社 武井工業所 昭和14年7月 昭和31年4月 522,323,400円	発行可能株式総数 発行済株式の総数	12,000,000株 3,542,000株
事業所等	本社工場	茨城県石岡市若松一丁目3番26号 明野工場(茨城県筑西市) 小川工場(茨城県小美玉市) 岩瀬工場(茨城県桜川市) 栃木工場(栃木県下野市)	営業所	東関東営業部広域営業課(本社内) 〃 茨城営業課 水戸営業所(本社内) 〃 〃 つくば営業所(本社内) 〃 〃 鹿行営業所(茨城県小美玉市) 西関東営業部広域営業課(栃木県下野市) 〃 栃木営業課( )
従業員数		227名(男 204名、女 23名)		

# 株主メモ

Note for shareholders

- 事業年度 7月1日から翌年6月30日
- 定時株主総会 毎年9月中
- 配当金受領株主確定日 1. 6月30日  
2. 中間配当を実施する場合は  
12月31日
- 単元株式数 1,000株
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社
- (お問合せ先)  
(郵便物送付先) 〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-711 (通話料無料)
- 公告の方法 電子公告  
(やむを得ない事由がある場合は日本経済新聞に掲載して行います)
- U R L <http://www.takei21.co.jp/>

(注) この株主通信は、第61期の事業の概況等をお知らせするものであり、株主総会の招集、配当金のお支払い等はございません。



株式  
会社

武井工業所

本社 〒315-0018  
茨城県石岡市若松一丁目3番26号  
電話 0299-24-5200(代表)  
<http://www.takei21.co.jp/>

